京都の民主運動史を語る会 슾 報

2014年11月15日 第 215 号 (隔月刊)

題字 住谷悦治



原社 燎

(京都の民主運動史を語る会) 代表 井口和起

務局

京都市左京区高野東開町 1-23 第三住宅 33-302 井手幸喜 〒 606-8107

tel & fax075 (722) 3823

京都の民主運動史 史跡散步

(左京区・法然院)

共産党のこと。 の歌」とのことだが、 1946年)、 大学教授だった河上肇 和歌を詠んだのは経済学者であり京 「或黨の黨員となりし 「或黨」 1 8 7 9 は日本

てはこえてきつるものかな)と万葉仮

多度利津伎布理加幣里美禮者山 天波越而来都流毛野哉 わう法然院も墓苑はひっそり ふりかへりみれば の間の石段を登っていくと中腹に 葉に染まっ た東 やまかはを こえ Ш 」(たどりつき 観光客で 河遠古

名で書いてある歌碑が建っている。 46年1月30日没、

に入り、 せられ 喜びの気持ちを詠ったもの。 圧 の時期に54 9 32年9 翌年捕らえら 歳 0) 月7日、 高 れ懲役5年に で入党した時の あ 0) 烈し 地下活 13 処 動

していたという。 をつきながら法然院界隈を好んで散 37年出獄したが、 自ら「刑余老残の身」と 病 床に つく目 が 杖 多

弱に肺炎を併発したためだった。 「革命の闘士、 67年の生涯を終えた河上に、 同志河上肇の 死を 産

、党の喜び詠った和

くとともに、

併せて法要と墓前

今年も

10月25日に行われた。 の焼香をおこなっている。

法然院の墓地には、

谷崎

潤

郎

九鬼周造、

田

平八郎、

内

. 藤

湖

南

たみ、 は毎年秋に定期総会を法然院 1956年だった。 が建てられたのは、 との電報を送った。 意碑の文字は大内兵衛東大教授。 この法然院に河上 碑 われら一 の横に 建つ 同闘争に 河上肇記念会 没後10年目 の墓碑と歌 河 上 邁進 肇 で開 0

ら多くの文人学者の墓もある。 法然院へは市バス 道の橋を渡る。 「浄土寺」 写真は矢吹正夫氏提供 下 車 「法然院町」 東へ。 哲学

くは

栄養失調による 原 強(コンシューマーズ京都理事長) 2

京都の消費者運動の歩み 私の経験から――9月例会 私の一期一会 🕕 文化発信の仕掛人 伏見そうぞう館館主 黒崎夏彦さん インタビュー・佐藤

桟敷よし子「ジョゼの青春」を追いかけて

研究ノート 京都勤労婦人連盟⑤ 最終回

〈この1枚〉蜷川府政の憲法普及活動 10

BOOK『医師たちのヒロシマ』(復刻増補版)を読んで 占領下の「原爆展」も収録 小畑 哲雄 本田久美子 [悼] 安らかに、木村万平先生 穏やかに新聞読む姿が今も… 7

岸 伸子 8

井上 とし [紹介] 向井啓二『京都学生歴史科学研究会私史』 ② 15

月例会の

/編集後記 16

私 の経験 から 原 強 (NPO法人コンシューマーズ京都理事長)

いて語っていただきました。原さんは「私が関わった範囲での報告ということ 法人コンシューマーズ京都の原強理事長から「京都の消費者運動の歩み」につ でご了解いただきたい」と前置きして要旨次のようなお話を伺いました。 9 月例会は9月21日午後、東山いきいき市民活動センターで開か ħ N P O

加わり、 事もしています。 団法人蛍光管リサイクル協会代表理 代表をしています。さらに、一般社 レイチェル・カーソン日本協会の活 ともない現職になりました。また、 2003年、 代表幹事を経て2002年に会長、 ら参加し、 の活動については、その結成当時か お話する京都消費者団体連絡協議会 の役員になりました。他方で、 協の勤務を経て、 生協連合会、 員になりました。その後、 た。学生時代から大学生協の活動に 私は1968年に大学に入学しまし ず、 卒業とともに大学生協の職 簡単に自己紹介をします。 事務局次長、 現在、 同会のNPO法人化に 京都府立医科大学生 京都府生協連合会 関西フォーラム 事務局長、 全国大学 今日

京都消団連結成に向かう |協と労働団体の運動が合流

京 都消費者団体連絡協議会が結成

> げ、 後、 たといえます。 費者運動として形が整うのは、 活動があったのだと思いますが、消 状況のなかで、 で伝聞情報でしかありませんが、戦 ては、私は直接関わっていませんの それ以前の京都の消費者運動につい されたのは1972年のことです。 ひろがっていくなかでのことであ 消費者の暮らしと健康を守る運動が 本の高度経済成長のもとで物価値上 公害・有害食品問題に直面し、 物資がない、 京都でもさまざまな 食料がないという Н

> > た。

年に設立され、京都の消費者運動の時は洛北生協といった)が1964 が再建され、さらに京都生協(設立本格化するなかで京都府生協連合会 立 0) にあったと思います。この流れに女 コアが形成されていったことが背景 三医科大学などで大学生協の活動がとくに京都大学、同志社大学、府 |団体・グループの活動、 生活防衛闘争が合流して京都消費 労働団体



響したのだと思いますが、 出し (1962年)、ラルフ・ネーダ られて 地方自治体でも消費者行政が形づく ズムがひろがったのが、日本にも影 ーの活躍によってコンシューマーリ が W 者団体連絡協議会の結成にむかって また、アメリカでケネディ大統領 ったといえます。 「消費者の権利に関する教書」を 消費者保護基本法が制定され、 いくという状況がありまし 1 9 6 8

京都消団連の結成のころ 「物価値上げ反対」でデモ

さらに、 され、 9 年、 生活学校、 れたのです。 京都消費者団体連絡協議会が結成さ 性が強調され、1972年7月3日、 の恒常的な連絡調整センターの必要 も消費者のくらしと権利を守る運動 のデモ行進が行われる中で、京都で 上げ反対」をかかげた消費者・市民 このような背景のもとに、 第1回京都消費者大会が開催 第2回、 1972年2月、「物価値 京都母親連絡会、 代表幹事団体には加茂 第3回と回を重ね、 京都総 1 9 6

執 筆 者 紹 介

2

原 人コンシューマーズ京都理事長。 強 (はら・ つよし) Ν Р O 北法

堀り起こしの会」世話人。 小畑哲雄(おばた・てつお)「 佐藤和夫(さとう・かずお) 話人、 前京都市議。伏見区在住。 「原爆展 八幡市 本会世

教育センター事務局長。左京本田久美子(ほんだ・くみこ) 住。 左京区在

井上とし(いのうえ・とし) 岸 伸子(きし・のぶこ) 史研究会会員。北海道美瑛町在住。 山科区在住。 札 視女性 女性史

です。 した。 務局は京都府生協連合会に置かれ 評 京都府生協連合会が選 時はまさに田中内閣発足の ば れ 頃 ま 事

行われました。 は円山公園で実施され、 結成直後の第4回京都 デモ行進も 消費者大会

連絡懇談会が結成され 1972年12月には関西消費者団 大阪消費者団体連絡会が結成され、 ちょうど同じ 時期に大阪 ました。 でも全

公共料金値上げを追及

足、 騒ぎに始まる生活関連物資の「物不 になりました。トイレットペーパ それに続くインフレに直面すること されて間もなく「石油ショック」と 京都消費者団体連絡協議会が結成 灯油値上げや公共料金値上げな 1

サービス改善などを実現してきまし 会主催の 力が試され、成果もあげてきました。 どの中で、 の定期懇談会の活動に結びつくもの た。この経験は、その後の円高差益 の問題点を追及し、値上げ幅の圧縮 会」、さらに関西消費者団体連絡協議 鉄などの公共料金問題に力を入れま 私自身は関西電力、大阪ガス、私 消費者の怒りをぶつけ、値上げ 各社との交渉、 「民間公聴会」などを通じ さらに今日にいたるまで の消費者運動もその 国の「公聴

ました。これは、 験は実に貴重なものであったといえ が姿を消すことになりました。しば スコミも注目し、市場からファンタ たのですが、はっきりした回答が得 ないかということで情報公開を求め タの着色料に発がん性があるのでは 着色料追放の取組みでした。ファン さを実感したのが、 団体との共同の運動の成果でした。 てくることになるのですが、この経 らくして天然着色料のファンタが出 ることになったのです。これにはマ ました。私自身が消費者運動の面白 有害食品の追放運動にも力を入れ AF2追放の運動にも取組み ファンタのボイコットをす 関西各地の消費者 ファンタの有害

消費税反対で 府民投票 ŧ

70年代後半から一 般消費税導入の



第1回京都消費者大会 (1969年11月 5

題

組み、 るものになりました。 0) げ反対の際には「府民投票」にも取 っていいと思います。中小事業者団 き上げ反対の運動に明け暮れたとい 消費税導入反対、 連 なりますが、 動 しました。「府民投票」は50万を超え タスキをかけ街頭宣伝をくりかえ の事務局長時代にあたりますが、 きがたびたび繰り返されることに 労働団体とともに、税率引き上 宣伝カーを使って消費税反対 80年代後半、私は消団 ひきつづく税率引

品衛生法改正運動などについても取 要求運動、 や消費者契約法の制定要求運動、食 豊田商事事件後の訪問販売法改正 製造物責任法(PL 法

> はチェルノブイリ原発事故 多くのことを学びました。 も取組みました。原子力問 にしぼった「民間公聴会」に 題などに関わりました。 問題に直面していますが、私 全国シンポジウムにも協力し、 電力との関係でも「原発問題」 の輸入食品の放射能汚染の 3 · 兰後、

関

西 間 後

ゆみ」でまとめられています。 議会の活動は「京都消団連25年のあ 大事な経験であったと思います。 を採択させる運動に関わったことは 化防止京都会議」で「京都議定書」 そのほか、 1997年12月の「地球温暖 京都消費者団体連絡協

掲げてNPO法人化 「消費者保護」と「環境保全

結成当時の役員も次第に少なくな した。結成から25年も経過しますと、 るべきかという論議をくりかえしま するべきか、その組織運営はどうあ 都消費者団体連絡協議会は今後何を 20世紀が終わろうという時期、 会員団体の事情も変わってきま 京

> すので、 ることにしました。 したが、最終的に、 なかなかむつかしい論 NPO法人化す

原発の

予算・ 私も、 ます。とくに助成金など外部の資金 蛍光管リサイクル協会の結成など他 内対策の確立を求める活動をすすめ さらに「水銀条約」の早期発効と国 なかでも地球環境基金の助成をうけ 成金をいただくことができました。 業化」することに努めてきたといえ す。私たちは、 活動するNPO法人としてコンシュ てきましたが、これは一般社団法人 て蛍光管の適正処理を求める活動、 てきました。おかげさまで各種の助 の活用ということにもチャレンジし せるために、できるかぎり取組みを 日に至ったというわけです。 れ以来、 した。コンシューマーズ京都は、そ ーマーズ京都が誕生するわけです。 に例のない活動になって結実してき その結果、2003年、 NPO法人といってもいろいろで 」と「環境保全」の2つの領域で その時点で理事長に就任しま 計画をもつという意味で「事 なんとか活動をつづけ、 組織を維持・発展さ 消費者保

年代後半から関わるようにな

1990年の「アースデ 1992年の「地球サ

地球環境問題についても80

ありましたが、何といっても ミット」にむけての取組みが

を入れ、また新たな発展方向を見 け出していきたいと考えています。 法のもとで「消費者教育推 としての活動として消費者教育推進 今後に向けては、 NPO法人として10年を経過 本来の消費者団体 進」に力 燎 原



8 日 さに現在進行形の歴史的庶民史そ 古学的に埋もれているものを発掘 藤森神社鳥居西隣)として伏見区 そうぞう館・ ありますが、 し今日的な意味を発見することも を発信しています。京都の民主運 から様々な文化や平和の思いなど (史の対象を語るという場合、考 京都市左京区生まれ) **||崎夏彦さん(1947年7月** 黒崎さんの場合はま 館主 (伏見区深草の は、

株式会社そうぞう館立ち上げ

です。

僕にとっては、夢と幸せの宅急便、

…。 ―本業は不動産屋さんですが

んとしたものです。たいという夢さめやらずで、もんもとはいえ、文化的なものにかかわり

リー、!!

1992年でした。
その「そうぞう館」の建物を賃借その「そうぞう館」の方円の出資金資金繰りは、1500万円の出資金を株式で募る方式で約70人の株主でを株式で募る方式で約70人の株主でなりしましたから、「はじめから、」が、

授の須田稔先生、元京都民報社社長 先生、 芸の上演運動などは、 は亡くなられた方も多いこと。 りのある方々です。残念なのは、 の松村茂さんなどなど、伏見にゆか の恵島良樹さん、立命館大学名誉教 く東武司さん、アートステージプロ 京都府医師会の会長だった長島三郎 援や応援がありました。たとえば、 動をはじめた中で、多くの方々の支 とくに、 私たち素人集団が、無手勝流に活 劇団京芸の藤沢薫さん、同じ 前進座の観劇会や劇団京 言ってみれば 今

伏見・夢と幸せを運ぶ会」に名称変た見・夢と幸せを運ぶ会」に名称変を立ち上げ、2001年3月に「21を、当時の京都民報社社長の松村茂と、当時の京都民報社社長の松村茂と、当時の京都民報社社長の松村茂と、当時の京都民報社社長の松村茂と、当時の京都民報社社長の松村茂と、当時の京都民報社社長の松村茂と、当時の京都民報社長のかりの「寺田前進座さんが伏見ゆかりの「寺田

め今日までがんばってきました。2005年11月台骨ができました。2005年11月台骨ができました。2005年11月台骨ができました。2005年11月 ができました。2005年11月 ができました。

「戦争展」や市長選応援も

一一文化の発信については、後半 一一文化の発信については、後半 一一文化の発信については、後半 一一文化の発信については、後半 一一文化の発信については、後半 一一文化の発信については、後半 一一文化の発信については、後半 一一文化の発信については、後半 一一文化の発信については、後半

黒崎 広原さんの地域マニフェストの伏見版では、「水と緑と歴史のまち・伏見」をキーワードに産廃の山ち・伏見」をキーワードに産廃の山ち・伏見」をきまするなど、広原先生に托したいみんなの思いを寄せ集める先駆的を提言するなど、広原先生に托したいみんなの思いを寄せ集める先駆的なものでした。深草大亀谷の仏国寺で、広原盛明さんの地域マニフェス必勝祈願を込めて取り組んだ「除夜必勝祈願を込めて取り組んだ「除夜必勝祈願を込めて取り組んだ「除夜必勝祈願を込めて取り組んだ「除夜必勝祈願を込めて取り組んだ「除夜必勝祈願を込めて取り組んだ「除夜必勝祈願を込めて取り組んだ「除夜

をしていまして、 学名誉教授の宮本憲一先生の息子さ ものです。若手落語家をお招きして ぞう館の一押しの、売り、になった 見まちづくり学会」シリーズもそう 後も広原盛明先生にお願いして、 会」や「そうぞう寄席」とか。 センハウス・落語会という文化活動 の「そうぞう寄席」は、大阪市立大 の鐘突き」や伏見の歴史を「歩こう いただきました。 んが、京都生協の左京店でアンデル 渡りをつけさせて

させていただきますでしたね。さて、 たらあかんといって、「上がり」と なんぼ落語でも話に〝落ち〟を付け 文化発信の方ですが―。 選挙企画での落語となれば、

「文殊九助」「廓」の舞台化も

黒崎 文化発信の二つの大きな



アムステルダムのアンネ・ ンクさんの銅像前にて

はじめました。同年6月17日に ´西 庫」を開設し、西口作品の貸出しを

口文学を歩く〟としてミニ・文学散

八生を2倍楽し

りましたが―。 とで、ホールのキャパの関係で消防 結成50周年事業として「文珠九助 2000年9月13 柱 法違反の疑いでイエローカードとな 員数3500人を記録しました。あ の京都生え抜きの劇団として観客動 センターホールで5回公演し、戦後 (小説『直訴』の舞台化)を呉竹文化 は、 前進座と劇 14日に劇団京芸 団京芸ですが、

を広げるというか、担い手づくりと 画をいくつも積み上げて運動の裾野 いうか、 構えるときは、かならずプレ・企 黒崎さんはビッグ・イベント しっかりやりますね。

となると、自伝的小説「廓」をどう 黒崎 「西口文学」をとりあげる

西口克己を偲ぶ集い」がそうぞう館 れば、 とりあげるかです 年3月15日にそうぞう館に「西口文 己未亡人のぞみさんがお話しをしま 見・火曜さろん」ということで小説 7月4日にそうぞう館で第1回「伏 とき、同年5月21日に「山宣」上映会、 集団のまったくの思いつきで、 たというべきかもしれません。素人 も経つとたった35人、いや35人もい で35人の参加で開かれました。20年 2006年3月15日「没後20年記念・ にむずかしくはあるのですが……。 小説」でもありますから、心情的 380人が参加しました。2007 して本番の7月22日に御香宮参集殿 画監督山内鉄也さんを囲む集い、そ した。7月13日には「祇園祭」の映 「祇園祭」のエピソード紹介を西口克 『廓』を劇化しようと目標が定まった 西口さんの「コンプレックス 祇園祭」を2回上演して、 ね。 遺族の方に 小説 す

にこだわるのか、 んですか。 そこまで西口克己文学 個人的な動機はな

せました。

日の「廓」

上演3回の公演を成功さ 2008年9月13、

14

ていました。そうぞう館のニュース 選挙のおりには土地勘をかわれて演 中書島の学生寮の味というところで 店や夜の部の歌声酒場などのお食事 の渾身・取材レポート」などももの では西口のぞみさんへの「特番記者 説会場などへの専属運転手をよくし でに桃山に引っ越していましたが、 栖向町に住んでいて、西口さんはす はじめのころは京阪中書島駅西の三 しょうか。それに、私は1970 んがつくっていたんです。 の料理は、当初の味は西口のぞみさ にしたものです。 黒崎 そうぞう館の昼 の部 いわゆる

西口夫妻の結婚秘

婚秘話」のご披露を―。 ぜひ、「いまだから話そう・ 結

親が敬虔なクリスチャンの良家の 営んでいることに劣等感をもち、 山千栄子さんが応援団になりめでた みさんの叔母様・新劇の大女優・東 ポーズできずにいたそうです。 嬢さまでもあるのぞみさんにプロ ぞみさんは知り合いました。西口 労働科学研究所で西口克己さんとの わきまえずにというか、ウエディン 月後に植村牧師の司式で軍人会館 んは実家が中書島の遊郭で貸席業を (現・九段会館)で挙式だったそうで 黒崎 戦時中の1943年6 結婚となりました。出会って4ヶ 戦時中に珍しいというか時局を 0) 父 ź お

BOOK

医師たちのヒロシマ」(復刻増補版)を読んで

(林単舎寛工・林手名房糸を言うる)

九一年に発行された「医師

国地方を襲った「枕崎台風」による が行われた。そして九月十七日、 たのだが、 爆後、 ことを抜きにしては、 名、理学部三名の犠牲者を出した(こ 陸軍病院が崩壊し、京大は医学部八 山津波のために、 当然のことながら参加していた。 が、東大、理研などからの調査団も、 出されたのには、特段の理由がある。 の本が京都の医師たちの手によって たちにとっては、この犠牲者たち の天気図」に詳しい)。 の件については、柳田邦男著「空白 称される組織の手になるものだが、こ がこのほど出た。「反核医師の会」と略 被爆直後の広島へは、京都帝大医 たちのヒロシマ」の「復刻増補版 旬日を経ずして、 理学部の調査団が駆け付けた あらためて調査と診療と 宿泊していた大野 ヒロシマを語 京都の医 敗戦を迎え 中 被 下の 原爆展| も収録

廃絶への願

いを吐露された文章が並

るのだが)、広島・長崎への思い、

核

(その中には既に物故された方もある部分には、単に起こったことを語る、のではすまない、「無念の思い」も読みのではすまない、「無念の思い」も読みとることができよう。 とることができよう。

も紹介されている。 地の「原爆展」の取り組みなどのほ で私が触れることのできなかった各 年の綜合原爆展」 ある川合一良氏の特別寄稿「一九五 野助教授にかかわるエピソードなど 寄与した京大医学部病理学教室の天 かに、この「綜合原爆展」に大きく つてブックレット「占領下の原爆展 原爆展掘り起こしの会」 その最後に、 私もその一 が載っている。 代表でも 員である か

ベリア抑留や大陸からの引き上

学童疎開や父親のインパー

にも、ご一読をすすめたい本である。いる。医学とは無縁と思っておられる方者が川合氏や私のところに取材にも来てについては、関心をもった若い歴史研究については、関心をもった若い歴史研究

(小畑哲雄

つむぎ出版刊

四

·六判302頁・

本体2000円

はいりにいる。 はいりにはいる。 はなんの初仕事は、無類の煙草好 がですりに並ぶことだったそうです! 一一いまそんなことを新妻にさ ですりに並ぶことだったそうです! ですり出がることを新妻にさ がドレスの花嫁姿だったとか。新

うか。 歳の「 和のための伏見戦争展」ではシ と何度いっても、 つの疎開ばなしということですね。 京大空襲をおもえば、これもひと 行くことを決心したそうです。 すのか!」の一言で京都の伏見に 赤ちゃんをさずかったのぞみさん たくなにこばみました。しかし、 西口さんが「僕の子どもを殺 西口克己さんが京都に帰ろう しかし、 新妻鏡」ということでしょ 今年は9月19、 世間の苦労をしらない 空襲がはげしくな のぞみさんは 20 日 の 東

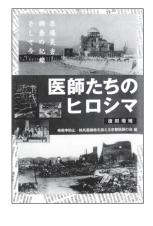
の「まぜまぜ」ですよね。まさにの「まぜまぜ」ですよね。まさにのでませませ」ですよね。まさに、370人の賛同と20人の参加で成功させました。西口克己という政治家にしてた。西口克己という政治家にしてた。西口克己という政治家にしてた。西口克己という政治家にしてた。西口克己という政治家にしてた。西口克己という政治家にしてと生きると言うことは政治となどの悲惨な話で、仕作戦の敗走などの悲惨な話で、仕作戦の敗走などの悲惨な話で、仕

2倍楽しんでます。 人生を

営を20年以上続けてこられて、 化の発信基地 しの名刺には、「二足の草鞋を履 所というところでしょうか。 り出すのが、 われると、ついその気になって走 さっている方すべてに感謝して ただいていると、私を支えてくだ 回きりの人生を2倍楽しませて 本業の不動産・建築業と他方の文 いています」と印刷していますが 今のままの情勢でどうするのと 崎 いつも、まわり 短所であり、 「そうぞう館」 Ó かつ長 人 わた 0) から 1 運

戦争とファシズムに抵抗した青春『十五年戦争期の京大学生運動岩井忠熊さんの新著

の治安維持法下、弾圧に抗し続けられた本が出版されました。 戦前 動の断章 れます。 りにしてよいことにはならない」(本 ならば、けっしてその意義をなおざ 平和と社会進歩のために役立った 運動の犠牲は多かった。しかし、そ おして、 た京大学生運動の歴史的検証をと 件以後 文より)という指摘には感動させら の経験が戦後民主主義に生かされ、 する著者渾身の一冊です。「確かに 「燎原」に連載された論考「滝川 本会名誉代表・岩井忠熊先生 製、 現代的メッセージを検討 十五年戦争期京大学生 」を元に新たに書き加え十五年戦争期京大学生運 (文理閣刊、 本体2000円 四六判162 事が



燎 原 第215号(2014年11月15日)

安らかに、木村万平先生

長谷川英俊さんと町

:の病院にお見舞いに伺いました。

本田久美子(京都教育センター事務局長)

こられました。 職員組合運動を統一してとりくんで 長で退職されるまで、教育活動と教 内で中学校の社会科の教師になら 万平先生は、 1984年京都市教育研究所次 1949年に京都市

ち」の台本作成、文部省 都市中学校教職員組合、京都市教職 したりされました。それと同時に京 をしたり、中学校の社会科の教科書 教育指導書「明るい生活」編集委員 員組合の執行委員として活躍されま の間違いや問題点を181カ所指摘 性教育映画「思春期の女生徒た (当時) 性

きか、そして、どう生きるべきかを あるべきか、組合活動はどうあるべ ない私に万平先生は、教育とはどう として、ご一緒に市教組の中央執行 をされていた時、左京支部書記次長 勤務され教職員組合左京支部書記長 のは1973年左京区の小学校に赴 教えてくださいました。 委員をした時です。よくわかってい 私が万平先生に初めてお会いした 先生が近衛中学校に

組合活動では、分かりやすい具体

学校の研究活動はどうなっているの \$ を注がれておられました。例えば小 起として練り上げられました。そし かりません。それを私に何度も何度 か、中学校籍の万平先生にはよくわ 的 人の組合員さんに伝えることに力 な政策提起とそれをきちんと一人 中心に研究活動を位置づけ政策提 聞かれ、学校づくり、職場づくり

> ました。 それが先生にお会いした最後になり そばでご一緒されておられました。 2012年にも町田のマンションに その時は、大変しんどそうで心配し 新聞を読んでおられ、武子先生もお 伺いました。その時にはマンション ておりました。京都に戻りまして 介護の談話室でおだやかなお顔で

ありません。万平先生、 いますが、お別れした気持ちが全然 今こうしてお別れの言葉を言 今も新聞読 こって

穏やかに新聞読む姿が今も…

奥の僻地の学校にも何度も通われま した。私も何度かご一緒しました。 ともきちんとされました。 てその政策を組合員さんに届けるこ 左京の山

があるのも万平先生のおかげだと小 から感謝しております。 の原点になっています。 合の活動を担うようになっても活 ら学びました。それ以後、教職員組 このような原則的な活動は先生か 今ここに私

生 して東京におりました折、 私が全日本教職員組合の役員と の具合がお悪いとお聞きして、 万平先

> す。 ださい。そしてありがとうございま あ てお別れの言葉とさせていただきま したと感謝の言葉を最後に述べまし んの胸に刻まれ、生きています。 れた功績は私も含めて多くのみなさ んでおられますか。 どうぞ安心して安らかにお眠りく 万平先生のなさ

お別れの会に250人りがとう木村万平さん

柴田京子さん(先斗町「山とみ」女 映された後、参会者を代表して、 られた木村万平さんお別れの会が 故人を偲びました。 の後、献花と参会者の会食・懇談で 名誉教授)からのお別れの言葉、そ 将)・片方信也さん (日本福祉大学 ん (京都教育センター事務局長)・ 島晃さん(弁護士)・本田久美子さ く歴史街」から編集したビデオが上 としてMBSテレビ「映像・崩れ が参加、ありし日の木村さんを偲ぶ おこなわれました。会には250名 9月20日、リーガロイヤルホテルで 7月11日に90歳でお亡くなりにな 中 B

平さん追悼の誌面が参加者全員に配 られました。 なお「燎原」9月号掲載の木村万

写真=深草中学校昭和29年卒業の木村万平 先生の教え子のみなさんと



桟敷よし子「ジョゼの青春」を

担いかけて ----- 北海道紀行

岸 伸子(札幌女性史研究会)

「ジョゼ旅」の企画

正路怜子さん。

「ジョゼの青春」を追いかけて〕

「ジョゼの青春」を追いかけて〕

「ジョゼの青春」を追いかけて〕

正路怜子さん。

写真映像で伝えるものでした。
写真映像で伝えるものでした。
写真映像で伝えるものでした。
写真映像で伝えるものでした。
写真映像で伝えるものでした。
写真映像で伝えるものでした。
写真映像で伝えるものでした。

「三十分くらいのドキュメンタリー映に出ている。 (略・「ジョゼ旅」)を企画した正路さいは国際婦人年北区の会(大阪)事 がは「次世代の若者たちへ、どの様 がは「次世代の若者たちへ、どの様 がは「次世代の若者たちへ、どの様 がは「次世代の若者たちへ、どの様 がは「次世代の若者たちへ、どの様 がは「次世代の若者たちへ、どの様 がは「次世代の若者にちへ、どの様 がは「次世代の若者にちへ、どの様 がは「次世代の若者にちへ、どの様 がは「ジョゼの青春」を追いかけて】

知る「ジョゼ旅ーへの参加は滋賀・村る「ジョゼ旅ーへの参加は滋賀・世一ジを送りたいという大それた企画」(正路)でもあったのです。画をつくり、若い世代に何らかのメッ画をつくり、若い世代に何らかのメッ

知る「ジョゼ旅」への参加は滋賀・知る「ジョゼ旅」への参加は滋賀・大阪・京都・兵庫からの五人。北海 さいう方もいて、三十代から飛んでという方もいて、三十代から飛んでという方もいて、三十代から飛んでという方もいて、三十代から飛んでという方もいて、三十代から飛んでという方もいて、三十代から飛んでは、

、桟敷よし子、88歳の生涯

八九歳の生涯を終えた。北海道札幌に生まれ、大阪八尾で北海道札幌に生まれ、大阪八尾で「桟敷ジョセフィン」を戸籍名とす

記している。

かれ「男子なら何になりたいか」を村牧師による昼食会に級友たちと招村幌の北星女学校卒業を祝う小野

一今夏は、NHK朝の連続ドラマ「花 大とアン」に魅せられた人々も多い。 村岡花子の九年後に生を受けた桟敷 たミッションスクールの建学の精神 たミッションスクールの建学の精神 たミッションスクールの建学の精神 かわり、進取の気風など、花子と相 かわり、進取の気風など、花子と相 がわり、進取の気風など、花子と相 がわり、進取の気風など、花子と相

就職の地・岡山県倉敷での倉敷紡坑内作業禁止要求署名」活動がある。坑内作業禁止要求署名」活動がある。坑内作業禁止要求署名」活動がある。坑内作業禁止要求署名」活動がある。

8

後に満州開拓科学研究所(結核予防)へ赴任するも、間もなく敗戦。 所)へ赴任するも、間もなく敗戦。 務員(衛生部後方病院)などに就いた。 発員(衛生部後方病院)などに就いた。 一九五八年引揚船第一九次白山丸 にて帰国、大阪を生活と活動の拠点 にて帰国、大阪を生活と活動の拠点 として保健婦業務に関わった。晩年 までボランティア保健婦として意識 を失わなかったよし子さんを知る関 であった。 であるかったよし子さんを知る関

回想にみる北星や日本女子大の級友たちのエピソードはユニークな桟友たちのエピソードはユニークな桟友なったジョゼに再会した北星同級となったジョゼに再会した北星同級となったジョゼに再会した北星同級がジョセさんのジョセさんたる所以がジョセさんのジョセさんたる所以がジョセさんのがコセさんのジョセさんであいまで、こうした足跡を残して「天室へのにもない」と回想している。なれそうにもない」と回想している。なれそうにもない」と回想している。なれそうにもない」と回想している。なれそうにもない」と回想している。なれそうにもない」と回想している。人と今も、北海道江別市で土をおこんと今も、北海道江別市で土をおこんと今も、北海道江別市で土をおこんと今も、北海道江別市で土をおこんと今も、北海道江別市で土をおこんと今も、北海道江別市で土をおこれた。

ゼ旅」はお元気なルツ子さんにもお 目にかかることとなった。 し、手仕事にはげんでおられる。「ジョ

そして交流

手に取った。北海道でも戦前からの 堅田精司北海道社会文庫主宰から教 ある保健婦の昭和史』(一九七五)を の女性の社会運動家としての存在を は正路さんとの出会いでもあった。 て掘り起こそうという一環であった。 女性運動家の足跡を地域女性史とし から交流することが出来た。北海道 筆者は、〝桟敷さん〟と一九八二年 大阪での、〝桟敷さん〟との初対面 桟敷よし子『永遠なる青春―

「ジョゼ旅」のはじまり

製の映像視聴〉を切り替えて、 2014・10・1) と報道されてい 記者講師解雇を」(北海道 学園大学への脅迫文 朝 た北星学園理事長と学園長を訪問 桟敷を捉える昭和初期の北海道庁作 星学園支援の「負けるな北星!の会」 圧に敏感な「ジョゼ旅」の一行は、 た北海道札幌に十四時到着。 台風の影響で遅れはしたが、 (マケルナ会)発足の記者会見を知る 課題を見逃さず、 恵さんも同行して、予定されてい 即刻道庁へ向かうこととなった。 の始まりは一〇月六日。「北星 〈北海道経済との関連で 最終日の十日に 日 人権抑 新聞 1新聞元 六日北

> ジャーナリスト・市民が立ちあ いうので、現状を憂慮した学者 届き、家族もいじめられていると させろといった脅迫状が大学に 講師でいるのはけしからん、やめ 北星学園大学の非常勤

創立者のスミス先生を始め、 成績簿などが飾られていた。 から取り寄せたオルガン、写真や 先生方の肖像写真、当時アメリカ ゼが学んだモンク先生など歴代の 女性史研究会のメンバーと合流し がったのだ。 て「北星100年記念館」を訪問。 記者会見に同席した後、

札幌

たかもしれない。 ス幼稚園で働いていた時、多喜二は 女が公費生の義務として小樽のロー 野富士夫先生が案内してくれた。彼 小樽高等商業学校に進学しているの ふたりはどこかですれ違ってい の貴重な資料を収めた図書室を荻 小樽商科大学へ。小林多喜二関係 大富豪・猪俣家の銀鱗荘をながめ、 への学費と生活費を出してくれた 二日目……ジョゼの日本女子大

ニシン漁の風景などを見学 三日目……余市水産博物館 で昔の

キリスト村へ訪問。注()は岸。 その後ジョゼの一番下の妹であるル ツさんとその娘のめぐみさんを(旧 た北海中学(現北海高等学校) 四日目……ジョゼの父が教えてい 五日目……北星学園大学の酒井玲) 訪問。

子学園長と大山綱夫理事長を訪問

「ジョゼ旅

を知ることとなった。 ならず近代史に登場する人々の交流 訪問の先々で、北海道と関西のみ

松」が札幌でともに札幌独立教会で 者たちを見つめていた。 あった本郷新の「わだつみ像」が若 れた。高校の敷地内には、出身校で 報を読み過ごしていたことを教えら 交流し、 の前田英吉こそ、桟敷よし子の父「新 に登場する自由民権家・キリスト者 人物であると紹介した。私自身も既 北海高校では、 (2013・11) の「岩崎革也と丹波 例えば、参加した田中隆夫さんは、 非戦の活動をともに進めた 『燎原』第二〇九号

とは、具体的な個人が体験した集積 うか、より自分に関わる問題として 初対面のメンバーをみまもる大山さ であることを実感した」(服部さん)、 興味を持てた」(野口さん)、「歴史 んらに助けられながらの旅でした。 「北海道に行く前と行ってからで 同じ情報でも吸収度が違うとい

桟敷ジョセフィンと京都

西陣、友禅等染物関係、その他」(七八 れている。「S製作所、 三三年頃の京都市内での活動が記さ である。これらへの働きかけは、 敷の前掲書には、一九三二~ 中央郵便局

10面へ続く

9



(右)を囲んで歓談(服部さん提供)

ジョ

学生、 聞き、 学園が五月から対応に苦慮しながら 激励する役割を果たした。 職員を守ってきたことを直接

負けるな北星!会見に同

軍慰安婦問題の記事を書いた植村降 変更して北海道庁記者クラブへ直行。 記者会見があるというので、予定を せた依頼原稿の一部を紹介したい。 元朝日新聞記者で、1991年に従 なり『不屈』高槻・島本支部版へ寄 ここで、正路怜子さんが帰阪する 「負けるな北星!の会」ができ、 一日目・……この日は東京と札幌

> 第215号(2014年11月15日) 原

連 載

この

蜷川府政の憲法普及活動

美濃部 黒田 知 事 迎え4000人 1 9 7 1



には「会場を貸さない」「後援を取 り消す」という自治体まで現れて でいる。憲法を守る集会や催 安倍政権の下で「憲法」 が 揺

誓させられるのだから。 採用されるとき「憲法遵守」 ないわけではなかろう。 護する義務を負ふ」―まさか知ら の公務員は、この憲法を尊重し擁 務大臣、 憲法99条 国会議員、 天皇又は摂 裁判官その 公務員は 政 及び を宣 他国

ことは遺憾というより情けな 4000人が参加した第12 作成し府民に配った冊子 とである」 守ることを無視している者のある 1965年から毎年5月と11月に ト憲法」に蜷川さんは書いている。 憲法府民のつどい」を開いていた。 東京 「このごろ憲法を論議して憲法を いた特製の大きな屛風を飾 写真は1971年5月、 憲 法普及のため予算を組み、 舞台にはいつも憲法前 川知事が講演、 都知 —蜷川府政時代、 黒 田 京都会館 大阪 「ポケッ 口 美濃 府 府 5 知 が

> るが、 ろが多い。 の活動状況は、 京大関係者に久野収などの証 どの様なものであったのか。 兵庫、 大阪など関西での戦前 まだまだ不明なとこ 言もあ また、

年

ることを願い北海道紀行にかえさせ て頂きます。 今後、「大それた企画」 が現実とな

催 新聞報道と従軍慰安婦 シンポジウム 日

語る。松 <u>る</u>。 センター ナリスト9条の会(☎213・2451 時~5時30分、 報道を考える 松竹伸幸・かもがわ出版編集長が 落合健二・元朝日新聞企画報道室 資料代千円。主催=京都ジャー (三条花見小路下る一筋目東入 東山いきいき市民活動 11 月 15 日 土 午後2

ル。 歌人 、 チャー・京都など主催。資料代500円。 をめぐって」と題して講演。市民ウォッ 細胞生物学者) 社会を考える」 11月20日 (木) 午後6 講演会「ついにやって来る 歌人・永田和宏氏(朝日歌壇選者、 ウイングス京都イベントホー が「言葉の危機的状況 秘密

日(土) 10時30分、ホールで人形劇団で劇団京芸「天使のかいかた」、同日で劇団京芸「天使のかいかた」、同日で劇団京芸「天使のかいかた」、同日でのかまつりぴーひゃらどん」。 27 世界 (本) 10時30分、ホールで人形劇団の子関 (本) 10時30分、ホールで人形劇団の子関 団てんてこ「テラムジカアルコバレー 京芸「火よう日のごちそうはひきがえ がきでの申し込みが必要)問い合わ ノ」。入場無料(12月1日までに往復は 京都教育文化センター開館50周年 同日18時30分、 ホールで音楽

研究ノー

河野野野

井上とし (女性史研究者

最終回

(5)

駐軍との

周辺でも娘を山中に疎開させようと 衆の面前での授乳を慎めなど。私の 特に女性はもんぺを着用をせよ、公 ある。 まじめに憂慮されていたが、 いるのか、 る占領がどのような生活の激変を強 している。昨日までの鬼畜米英によ で京都の一六師団と死闘した軍隊で 都に進駐した。第六軍はクルーガー には平穏に占領は行われた。 大将が率い,フイリピン・ルソン島 945年9月 私事になるが私の叔父も戦死 新聞は市民の心得を掲載、 町中に恐れと不安が蔓延 第八軍に交替)が京 25 日、 アメリカ陸 表面的

国家の構築を求める一環であったと せる。それは勝者として国土の占領、 し、民主化に向けての改革を進行さ な耐乏生活に困憊していた国民 |月、GHQは五大改革指令を発 驚くほど自由な印象を与える 情報統制によってアメリカ型 軍国主義一色であった暗く デモクラシー、 男女

(上村千賀子『女性解放をめぐる占領

次第に親米意識 同 の宣伝が浸透してくるに従って、 へ誘導、 変容して

0) その間に「占領するもの、されるも のような進歩的婦人運動家と交流し、 そして婦人民主クラブ創立グループ 励するための情報計画」も立案した。 それを学ぶ学校」とし、同年6月「日 と結成された婦人団体は大日本婦人 という意の発言(新潟日報)もして 動の延長として獲得したものである の権利であり、戦前の日本の婦人運 展開し、「婦人参政権は人間すべて れる。46年4月、 尽力し影響を与えた女性将官といわ 当官エセル・ウィードは女性解放に をめざした制度改革実現の一大要因 が形成され、「戦後の女性の地位向上 本女性の間に民主的団体の発達を奨 主義の考え方と方法を教える学校、 会の流れを汲むものではなく、「民主 いる。またウィードは、地方で次々 にして全国に大々的キャンペーンを !の『女性政策推進ネットワーク』| の立場を超えて形成された日米女 GHQ民間情報教育局 初の婦人投票を前 女性問 題担

> 2007) というような時期であっ ダー観が出会った場としての占領期 豊田真穂 女性問題に限れば、「日米ジェン 『占領下の女性労働改革

策』2007)になったといわ

要であった。 婦と略す)のような運動の蓄積が必 であり、実質的には勤労婦人連盟(勤 限りにおいての上からの改革、贈物 いずれもアメリカの脅威にならない ンのような役割をしている。しかし 法におけるベアテ・シロタ・ゴード といわれる将官たちも進駐し、新憲 現出しようとするニューディール派 にくかった社会政策を敗戦国日本で たものもいた。また母国では実現し も高く、 初期GH フェミニズムの影響を受け Q 女性将官は 知的 レベル

は至っていない。 めねばならないが、 とする (75年)。 と、軍政部が一定の役割をしていた あらゆる婦人を集めることができた_ 児島とみも「民主主義ということで、 大学は物心共の協力関係を物語る。 多くみえ、援助、支援があったこと ようだ。既述中にも軍政部の人名が うが、研究はまだ端緒の状況にある 針に沿った軍政が進められたであろ に同調して活動を展開させた面は認 は明らかで、 さて地方都市京都でもGHQの方 -女性解放のやさしいイメージ醸成 特に47年婦人労働夜間 勤婦が初期占領政策 具体的な検証に

> 費以外の資金が必要であったのではな は勤婦の活動展開には、 いかと考えて質問した。 ての西垣昭子証言がある (80年)。私 勤婦と軍政部との関係につ 細々とした会

フィールド 「資金源は軍政部。 パトナム、 シ

近を強めていたかもしれない。 う。こうした偶然の人間関係からも接 人団体とかかわりがあったから、とい す子 (アメリカ日系二世) 美智子の友人にパトナムの通訳楠本や 吉田母子寮の寮母で勤婦会員の六島 と明確に答えた。 西垣が住んでい がおり、 婦

考欄』にも、従来の封建的な社会事 別会をしている。 ランド(軍政部報道課長、 人団体主催でパトナム、マックファー ていた時期であった。49年11月には婦 子どもが続々と流入し、 った京都には被災した全国から大人や きい影響を与えたと記される。焼け残 的方法を導入し、厳しい指導をして大 業をきりかえアメリカの科学的・技術 百年の年表4社会編 1945年参 力をいれ」た、と記述。また『京都府 自主的・自覚的な婦人団体の育成にも 員)は「京都の社会福祉に力をいれ、 み』で当時を知る品角小文(小学校教 は45年京都着任。『京都の婦人のあゆ 軍政部厚生課長エミリー・パト 対策に苦慮し の送 ナム

という日本名をもつ親日家で日本人に ド少佐(大佐)は、〈ミスター畝野勇 二代目京都軍政部長官シェ ーフィー 燎 原 第215号(2014年11月15日) 11

好かれていたらしい。

渡辺の 西垣には、 流に乗った」人であった。 生まれてきていた。渡辺はまさに「時 ステータスシンボルのような風潮も 初期婦人政策に接しアメリカ文化に 像したくなる。 口ぐせは生来の精神構造だけではな するが、これ以上踏み込んだ質問を るような出来事であったのかと推察 つるえに資金を提供していたのか。 く協調しつつ行動することは一種 なじんでくると、アメリカ人と親し したりして親米的である。 しなかったのは不覚であった。ただ 常的に渡辺の家へ出入りしていた この両人が、どのような形で渡辺 実質を伴ったものであったと想 渡辺は日米交歓座談会に出席 「共産党の壁になる」という これまた日常的に見聞す 当時の新聞を見てい G H Q の 0

ディール派GHQ将官たちが、任期政策が変化した。その時期にニューソ冷戦が顕著となりアメリカの対日ところが、1948年になると米

する。 直後 事実が示すように、軍政部(日本の公) 部幹部がすべてレッドパージされた の児島とみの回想―壇上の労組婦人 る。 として微笑みつつ監視も怠らなかっ 民権力機構も)は婦人運動の支援者 などの干渉抑圧の反共政策に変質す 婦人部への疑義、 終了または内部の対立によって帰国 パージの指名を受けている。 路線も終りを告げ、既述した労組 横地(長谷川)章子は東京移住 第1回国際婦人デーの項(前号 何も運動をしていないのにレッ (岩波書店 民主化の潮流に沿った女性解 『広辞苑』編集部在 国際婦人デー敵視

たのかとも関連してくるだろう。共産党がいつまで解放軍と捉えていたざるをえない。占領初期の民主化、えざるをえない。占領初期の民主化、方性施策は歓迎していたであろうが、女性施策は歓迎していたであったのかと考

8 共産党の女性政策

子、 質的運営を牽引していたのは横地章 (83年)。 前検挙の経験がある」といっている れないが、 ならない。 た女性共産党員であったといわねば 高喜代子 治安維持法下で抵抗運動にかかわっ 横 近藤とし子、 地資料をみていると、 《島津三条労働者》)らの 横地は「津田塾出身、戦 近藤については確認がと 児島とみ、(他に橘 勤婦 の実

> た」と評価している(81年)。 会長渡辺の反共的言動とは矛盾す 会長渡辺の反共的言動とは矛盾す 会長渡辺の反共的言動とは矛盾す

存在が認知されてくるに従って、そであろうけれども、社会的に勤婦のされるのにコンプレックスは感じた渡辺は、党員の幹部によって運営



進駐した(京都駅前) 米占領軍は京都

児島へと引き継がれた。

ないと思うが不明である。
にあったのではないか。あるいは何であったのではないか。あるいは何の運営能力の上に君臨している方が

みて、 述懐している。 に自由になるとは思わなかった」と き返したように入党もし、渇望とい ってよい心情で積極的に活動を開始 政治的自由と社会変革の可能性を喜 不可能であるが、 したことは、 んだのは彼女たちであろう。 0) 「察できる。 か。動機を資料に当たるのは最早 **|婦に4人が参加し、立ち上がった** ではなぜ、 なによりも敗戦による解放感、 児島は「戦後がこんな 敗戦直後の12月結 聞き取りからも容易に 戦前の活動歴から 息を吹 成

盟のような)は否定され、「経営にお 婦人運動の独自組織(戦前の婦人同 統一戦線運動方針の中でも、 党大会では「婦人行動綱領」を発表 党は合法活動を開始。 でも小松勝子が初代婦人部長になり、 特殊性は尊重するが自主的組織は認 るがいい」(『赤旗』 45・11・22) と、 すために、 べきである。婦人特有の要求を生か もとでのみ可能であるとしている。 めていない。この方針によって京都 いて男子と同じく大衆的に組織さる 45年10月治安維持法廃止後、 婦人解放は「人民共和政府」の 党や組合に婦人部を設け 12月の第4 例えば 共 П

戦後女性運動の原点/見逃せぬ初期占領軍の影響

「婦人部は党組織においては基本的な動員線でもなく闘争体でもない。な動員線でもなく闘争体でもない。といって婦人に対する政策をたて、それを闘争の各面において具体的に実れを闘争の各面において具体的に実相でるように闘うことによって、党組織及びその闘争力を拡大強化するとに使命がある。

現することにある。」

に重点をおいて、その大きな運動のしかももっとも切迫した生活の問題「婦人問題も、全人民に共通した、

を付加して問題の解決をしていくように進まなければならないと思う。うに進まなければならないと思う。このことは過去一年足らずの活動のこのことは過去一年足らずの活動のこの最大部組織では、解決しえないものといってよい」といい、「婦人の組織はなんでも婦人部にまかせようとする見解があり」、「大衆闘争のなかにいかに婦人を動員し組織するかという傾向がある」と批判し、随るという傾向がある」と批判し、随るという何向がある」と批判し、防の方不足、行動力の弱体を嘆いている。今昔の感、といえるのであろうか。

れを多いとするか、少ないとみるかっているが、ここでは総数76人。この年の婦人部名簿らしきものが残

9 おわりに

う。のかの感想をまとめておきたいと思いかの感想をまとめておきたいと思い追ろうとしてきた。その上でいくい上、現有資料を基に勤婦の実像

ージを描いていたのであろう。さら「勤労婦人の生活文化運動」のイメ的婦人運動をモデルとして踏襲し、的婦人運動をモデルとして踏襲し、動婦会長の渡辺は、基本的には奥

に占領軍、府行政の支援を受け併走に占領軍、府行政の支援を受け併走に出領軍、府行政の支援を受け併走の大きい時流に乗って成果を見せたい大きい時流に乗って成果を見せたいた業の労務指導者意識はぬぐい難かったのではないか。その意味で横地が「渡辺の突出を抑え、婦人全体のが「渡辺の突出を抑え、婦人全体のが「渡辺の突出を抑え、婦人全体の動きにしようといつも考えていた」

分のものかもしれない。また大多数と書いている。全市的にいえば一部ので、しかも幹部活動になりやすい」婦の活動に触れ、「これも小規模のも横地は47年の別の報告下書きで勤

の女性が解放を切に願っていたとしの女性が解放を切に願っていたとしの女性が解放を切に願っていたとしの女性が解放を切に願っていたとしの女性が解放を切に願っていたとし

あり、 再活用した婦人対策が進められてい まれぬ解放願望から、誰に強制され 認めさせたいという女性のやむにや によって知力をつけ、平等な人権を 社会、歴史の真実を学ぶこと。それ 成果という側面もあろうが、それだ アメリカの援助を受けた日米合作の 価 の婦人組織の存在は貴重であった。 る折柄、いち早くそれに応えた民 っていいたい。すでに軍政部―政府 せられるように集ったと、共感をも ることもなく自主性をもって吸い寄 よって隠蔽されてきたものは多大で けではないと思う。長い戦時体制に ―地方自治体によって旧有力婦人を また勤婦は、女子民主連盟、国 しかし、労働大学の盛況はどう評 すればよいのだろう。時の権力・ 新たな時代に直面して、まず 間

けではなく社会全体が混乱、分裂のは取り組みにくい問題を大きくとりは取り組みにくい問題を大きくとりあげる統一戦線的運動展開の基盤となりえた。残念ながら戦後民主化はわずか数年で転換され、婦人運動だれば、女子民主連盟、国際また勤婦は、女子民主連盟、国際

とはいえるであろう。 勤婦は戦後女性運動の原点になった 運動体は次々と再編されていった。 それにもかかわらず、 主化の試練の時期ともいえるのだが、 時期を迎える。ここからが主体的民 記述のように

で

間

あろうか。 揺籃器になっていたともいえないで り知れないものがある。 終わったとはいえず、その影響は計 すると、 運動を担い主導してきた事実を想起 性たちが、長きに亘って京都の女性 さらに本稿で取り上げた多数の女 単なる啓蒙的な運動だけで 種子熟成の

0)

変化と相俟って実質活動は比較的短 との相克は避けられず、 命に終ったといわねばならない。 当初私にも、 ただ、渡辺の志向と横 また運動史編集の際 政治情勢の 地 らの 理 念

だ反省すべき点、 価をするべきではないだろうか。未 体を通してもっと明確な検証、 についても同様であり、女性運動全 また共産党婦人党員の果たした役割 軍の影響を見逃すわけにはいかない。 し勤婦の活動歴をたどれば初期占領 性なしに運動は成立しないが、しか くあった。勿論、 性自身の自主性を重視する視点が強 戦後ただちに立ち上がった女 女性の覚醒と自主 研究の余地を残し 再評

から随所に闇市が賑わい、 本稿の扱う時期は、 深刻な食糧難 電力不足

> 児の大部分を負担するのが当然とさ 多くの女性活動者が実生活の細部に たことを付言しておきたい。 る。 れる家父長制家族意識下で生きてい ない。いうまでもなく、 杯であった。この背景をみていると、 L あったかと思い巡らさずにはいられ 亘ってどんなに苦労を重ねながらで ほとんどは家事労働を、さらに育 い改革が混在し、 **!繰り上げている。これら荒廃と新** 停電が相次ぎ、 家庭の民主化闘争も併行してい 私鉄は終電を1 生きるのに精 女性労働者

用に迷いはあったが、整合してみる 後資料の散逸は激しく、 資料の補足に採用した。横地の経歴 と勤婦、 しておきたい。 からの女性関連資料の提供をお願 からみて恣意的に書くとは考えられ 伝え得るものと判断し、 |常は入手困難であるうえに資料採 貴重な証言になったと思う。 地資料にみる共産党関係資料 女子民主連盟などの実像を 乏しい収集 重ねて読者 は

用語、 「女性」が使われるが、この時期の慣 「婦人」という用語は、 歴史的用語として混用してい 対語 がなく

終

京都の民主運動史を語る会名誉代表

歴史的検証と、「今」岩井忠熊先生による 「今」への問 () かけ

第一章 二〇世紀の日本の戦争と平和

現代国際環境の危うさ/関東軍/侵略戦争への反対、 ほか

第二章 京都大学とは

京大独自の学風をきずいた教授たち、 大学自治と沢柳事件 明治憲法体制と帝国大学/京大法科の学風 ほか

第三章 学生運動の登場

滝川事件と学生運動、ほか 立命館大学の辞職教官の受入れ 日本帝国主義と戦争/滝川事件の概略 学生運動の出現/治安維持法による弾圧

第四章 京大学生運動の展開と弾圧

上五年戦争

京大ケルン/末期特高の弾圧/結核と医学生、 学生運動の展開/京都帝国大学新聞 一六会の発足/くり返される五・二六記念行事 ほか

第五章 人民戦線の周辺

戦後日本の民主主義 戦時下寮長指導の社会科学研究会/「転向者」のさけ



岩井忠熊

164 ページ 四六判上製 定価:本体 2,000 円+税

理 畧 文

〒600-8146

京都市下京区七条河原町西南角

FAX075-351-7560

『アリーナ』16号に掲載され の論考の紹介。前号の続き) た種智院大学・向井啓二氏 (中部大学の定期刊行誌

学歴史研究会についてはその活動内 ダム女子大歴史研究会⑩華頂短期大 容は不明であるとされている。 ⑧京都教育大学⑨ノートル

全国的な学術文化会議の存在

られなければならないと考える。 ルな学生運動の歴史像の把握が進め として明らかにされながら、トータ 記録と並行し、学生運動の一つの姿の辿った歩みも、昨今の学生運動の れていた)の大学内とその地域連合 併せて地域系サークル連合と総称さ 当時で言えば学生ボランティア等と 落研、セツルメント等(紹介者註― サークルや向井さんがふれている部 運動のなかで育まれていった学術系 その詳細は記されていない。学生 属していたことも紹介されているが、 は向井さんの記述通り京学文)に所 学生学術文化会議が正式名称、略称 !団体連絡協議会(紹介者註―京都 一部団体として、 京都学生学術文

多くの学生が参加した集会とは言え 化団体の祭典 (交流集会)」(紹介者 註―全国学生学術文化会議が正式名 三国集会を開催していた。決して数 ふれながら、「全国の学生学術文 それは、向井さんが京学文の組織 毎年12月に12月集会と銘打って

> だろう。 等の全国組織についても言えること 憶があるとされている通り、その集 12月集会の報告集も刊行されていた れなりの数にのぼったと思われるし、 会に関係もしくは参加した学生もそ なかったが、向井さんも参加した記

学生の歴史科学運動

その活動内容について見ておこう。 「学歴研は歴史の研究(勉強)をして いての叙述もあるがそれは省略し、 さて、論考には、学歴研 の組織に

> いだろうか。 加の持つ意味は大きかったのではな ぶことを通し不承認集会への学生参 野や社会科学を学びながら、その学

学歴研の存在意義とその評 価

活動停止が始まった。「学生の間でマ 代後半、おのずと学歴研の実質的な 活動を停滞、停止し始めるのが80年 れている。加盟各大学の歴研がその 研のその後と活動の意義についてふ とっての限定」と断った上で、学歴 向 一井さんは論考の最後に、「私に

「記憶の糸を束ね直して

-1970年代の学生歴史系サークル活動 京都学生歴史科学研究会私史―」②

迎の入門講座を科学運動とされてい と向井さんは記している。新入生歓 認京都集会への参加と新入生歓迎の 年 て―歴史科学運動といっていた―毎 して定着し始めたこの時期、 ねていた。2月11日が次第に休日と ともに主催団体の一つとして名を連 日 員組合や、向井さんが指摘する通り 念の日不承認集会については、教職 ることには違和感を持つが、建国記 意味を込めた入門講座開催があった」 いただけではない…独自の活動とし ·開催されている建国記念の日不承 本史研究会・京都民科歴史部会と 専門分

考なので、 いでもないが、あくまでも回想的な論 記している。後者の評価には疑問がな いい場所だったのかも知れない」とも 究者を育成し、リクルートする都合の 学ぶ機会」を享有できたこと、若手研 学の学生・学部を超えた学生と歴史を 要因ではないかと叙述している。ま なっていった」ことが、その大きな による共同の学びは魅力を持たなく リキュラムに基づく学習以外に有志 れなくなったこと」、日本の大学で「カ ルクス主義を含む社会科学が受け入 た、学歴研の存在意義として、「他大 大きな流れとしては首肯

できる叙述と言えよう。

クル機関誌が発行されていただろう が、当時も未だサークル機関誌はガ 印刷に立命館大学広小路学舎まで印 交わされていたのか。前号に紹介し ンバーの理論向上をはかる研究会も の保障をおこない、学歴研事務局メ 究会があって、社会科学系の学部 まってはいないだろうか。 い時代の思い出として廃棄されてし け残されているだろうか。多くが若 誌があった。それらの資料がどれだ し、学歴研にも『学歴研』なる機関 リ版印刷の時代。かなりの大学でサー 刷機を借りに行ったと記されていた た通り、 ストとして採用され、どんな論議が あったとされる。そこで、何がテキ 学科がないサークルに対し学びの場 日常の連合体である学歴研にも研 向井さんはサークル冊子の ゃ

ついても丁寧な記録が急がれる由縁 トリアム世代の学生歴史科学運動に めに』『歴史評論』等も含めて、モラ 前回紹介した『新しい歴史学の た

(文責・事務局 井手幸喜

演を入れてのべる60人」と書いている 究会の大会は石母田正法政大教授の講 の13団体を軸に34団体で実行委員会を 三千人が参加、 つくって準備。…京都学生歴史科学研 「第8回京都学生学術文化集会にはのべ 「京都民報」1971年12月12日号には 京学文運営委員会加盟

民主運動史を語る会 12 月例会

12月4日(木)午後2時~4時半 き ح ところ 東山いきいき市民活動センター会議室

花見小路通古門前上がる東入る南側

阪/地下鉄 三条京阪

交番 若松通

古門前通

花見小路通

会 総

川端通 縄手通

京都のうたごえ運動 65 周年 山本忠生さん(ひまわり合唱団指揮者) 語る人



1939 年京都市生まれ。疎開先の宮津市で 府立宮津高校卒、1957年京都市内の電機 会社で働き職場演劇活動を経験したのち、 うたごえ運動に。1962年京都ひまわり合 唱団の専従者として事業・アコ伴奏・指揮・ 作曲など。1964年訪ソ、2000年韓国光州 芸術祭に指揮者として訪韓。

三条诵

神社.

公園保育所

できます。会員は無す。どなたでも参加例会は隔月に開きま 料代300円。 料。会員外の方は資

しすぎます。 の代表者の手記などを読ませて頂きま 民主運動を支えてこられた方、この会 した。しかし、 めて拝見し、京都の民主運動の母体船 私のような凡人には難

入会

殿平善平

(北海道深川市)、

と思います。 ろは怒り、頑張るところは頑張りたい らさないと!と思っていたところです。 合い、その関係の機関紙代など少し減毎日を送っており、以前からのお付き 出です。今は、年金とわずかな内職で ど一緒に悩んだりできたのがいい思 好きで商売人さんと融資、 話になれていたのも、たまたま数字が お祈りいたします。 に合うところで、私なりに、 そんなわけで、分相応、 教養もなく約30年民商事務局でお世 『燎原 の今後の発展を 私の物差し 資金繰りな 怒るとこ

ざいました。『燎原』を私に送って頂く

『燎原』を送って頂きありがとうご

松村範子(京丹波町

凡人には難しすぎる

ようにお願いしたのは私の叔母です。

いい機関誌だから頼んでおいてあげ

たで」と叔母から聞いていました。

見明 (中京区)、 本田久美子(左京区) 死去 [退会] 伊藤堅二(亀岡市 桐林繁(宇治市 松岡正美 (左京区)、

情報 スクラップ

親切の

御名文にし

松岡正美(左京区) 感じ入りつ

長

入会の振り込みに添えて

会員潤息

のご無沙汰

お詫びてぞ居む!

―皆様方、殊に湯浅の御仁に―

2014神無月

松丘子



新代表に松野周治氏 河上肇記念会が総会 岩井忠熊氏が記念講演

に新世話人を選任しました。 野周治・立命館大学教授を選ぶととも 河上 月25日に法然院で開かれ新代表に松 肇記念会の2014年度総会が

聴衆に感銘を与えました。(写真) エピソードを交えながら紹介、 にわたって記念講演、この日発売され 期の京大学生運動」と題して一時間半 たばかりの同題の著書の中味を数々の 総会のあと岩井忠熊氏が「15年戦争 50 人の

地下鉄 東山

東大路通

京都市東山いきいき 市民活動センター

宇治在住の横道しげ子さんの「紫式部市民文化賞、横道さんに

横道さんに

ビス。

地の記憶~』

発行は丸善京都出版サー

り」が第24回紫式部市民文化賞に選ば宇治在住の横道しげ子さんの「雪明

れました。京都での専売労働者として

の歩みを描いた自伝的小説などです。 編

集 後

記

生資料は胸に迫ります。 多彩なプログラム。とても周りきれま まつり」に行ってきました。広い会場、 の名誉を救った」の追悼談話がさりげ 本百合子の原稿、多喜二のノートなど けました。検閲でずたずたにされた宮 せんが、「日本共産党展」に感銘を受 「宮本顕治さんは反戦によって日本人 11 月1日 から3日間、 加藤周一氏の 東京の「赤旗

歌を演奏しながら語ってくれます。 生さんの「うたごえ65年」。 なく展示されていました。 末のひととき、ぜひご参加ください。 ▼12月の例会は「忠やん」こと山 懐かし 本忠 年 N

天野和夫氏の思い出綴る 芳子夫人がエッセイ出版

語る会代表)が亡くなられた後、 5月に、 芳子夫人は、 に、最晩年の先生の闘病記と思い出を 土真宗 (西本願寺派) 「仮寝の人」として記された。それ以降、 2000年3月、 (岩井忠熊先生の前の民主運動史を 天野和夫立命館総 右京区鳴滝の浄 順興寺の広報誌 同年

歓迎します。 しています。とくに「忘れ得ぬ人」 会員のみなさんからの投稿をお待ち 「その時、私は…」やエッセイなど メールでの投稿は

yuasa@kamogawa.co.jp 湯浅俊彦 りは発行月前月の15日です。 毎号の締め 切

あてにお願いします。

燎原」

編集部

出版された。『あの雲と飛びたい~大られたエッセイがこのたびまとめられの広報誌に、ご主人の思い出やその周